

東北公益文科大学 産学官連携の取り組み

■ 産学官が連携し、“現場”で課題解決について学ぶ「プロジェクト型応用演習 POSデータ分析による売場改善と効果評価」

本学における実践的なデータサイエンス教育実施を目的に、2023年8月に本学と株式会社True Data、株式会社チャンピオン、酒田市産業振興まちづくりセンター サンロクの4者による協定を締結しました。この協定に基づき実施しているのが、2023年度秋学期～開講の「プロジェクト型応用演習 POSデータ分析による売場改善と効果評価」で、株式会社チャンピオンから酒田店の実際の売り上げ個数・価格等のPOSデータを提供いただき、株式会社True Dataが、その販売データ（POSデータ）の分析手法をレクチャー。最終的に、学生たちがデータ分析に基づいた売場改善の提案を行っています。このように、産学官が一緒になって連携しながら具体的な課題にチャレンジすることで、学生たちは「知識を活かす力」を養っています。

■ 酒田市におけるデジタル変革（「DX」）推進に関する取り組み

酒田市におけるデジタル変革（以下「DX」）推進による市民サービスの向上、地域課題の解決、デジタル人財の育成等を目的に、2020年11月に本学と酒田市、株式会社NTTデータ、東日本電信電話株式会社の4者による産学官共創の連携協定を締結しました。

本学では、開学以来プログラミングを必修科目として設置し、2017（平成29）年にはメディア情報コースを新設するなど、情報教育に力を入れてきました。メディア情報コースでは、自ら築いた情報技術で世界・地域のつながりを活性化する人材を育成しており、酒田市のDXに取り組むためこれまで培った情報技術で地域に貢献してまいります。